

～見どころ聞きどころ～

第33回日本顎咬合学会学術大会・総会

2015.6.27 sat/28 sun

東京国際フォーラム

Who's Who

2015.4.20

新・顎咬合学

知るべきこと！ やるべきこと！



発行日：2015年4月20日

発行元：特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL：03-6683-2069 FAX：03-6691-0261

特別講演



Dr. Joan Otomo-Corgel

Dr. Joan Otomo-Corgel is a graduate of California State University, Fresno 1972 (BA, Zoology), UCLA School of Dentistry 1976 (DDS), UCLA School of Public Health 1980 (MPH – Behavioral Sciences and Health Education), West Los Angeles VAMC General Practice Residency 1977 and Postdoctoral Periodontics Residency 1979. She is currently a Clinical Associate Professor in the UCLA School of Dentistry, Department of Periodontics (1980-), faculty (1979-) and chair of research at the Greater Los Angeles VA Health Care Center Dental Service (1990-) and past faculty at the WLA City College of Dental Hygiene Department (1990-2010). She has a private practice limited to Periodontics, oral medicine, and implantology in Los Angeles, California since 1981 with Dr. William Matoska.

Consensus on Periodontal Regeneration — Osseous and Soft Tissue

6月27日(土) 9:30-12:00 ホールC

AAP (American Academy of Periodontology : アメリカ歯周病学会) といえば、歯周病に関する学会の中では、世界で最も権威のある学会。Joan Otomo-Corgel 先生は、その世界に冠たる学会の現会長です。現役のAAP会長の講演を日本で聴講できるチャンスは、滅多にありません。凄いことです。当然その内容も特筆もの!! 今回の特別講演では、米国歯周病学会 (AAP) の歯周組織再生ワークショップの成果を、『Journal of Periodontology』『Clinical Applications in Periodontics (CAP オンラインジャーナル)』で2015年に発表される論文とともにご紹介いただける他、この分野の世界的専門家60人が集い提言した5分野*における歯周組織再生アプローチの臨床応用をご提示いただけます。科学的エビデンスが臨床現場の患者と融合する。その具体例を、ご自身の“目”と“耳”と“心”で脳裏に焼き付けましょう!!

* 根面被覆のための軟組織移植術、組織増大のための軟組織移植術、根分岐部病変部の歯周組織再生、骨縁下欠損の歯周組織再生、歯周再建のための新たな再生アプローチ

Systemic Disease and its Impact on Periodontal / Implant Health

6月27日(土) 13:30-16:30 ホールB7左側

“Floss or die” の発信源、AAP (American Academy of Periodontology : アメリカ歯周病学会)。会場の若手歯科衛生士さん、“Floss or die” の頃に生まれた方達かもしれませんね。

その学会の現会長、Otomo 先生自らご教授いただく、歯周病と全身疾患の関連性について、最新の科学知識・研究結果を用いて歯周病と各全身疾患の因果関係を解説していただけます。ただ、ここまでなら、単なる学術講演です。しかし、臨床家の学会、日本顎咬合学会会員に向け、Otomo 先生はこの分野で最も信頼のできるエビデンスを基に構築された歯周病治療と、全身疾患の患者に対する臨床現場での実際的な応用法を提示していただけます!

具体的には、「どんな場合に治療し、どんな場合に治療すべきでないか」といった全身症状の確認と適切な治療変更。また、服薬と薬物相互作用に関する臨床指針の最新の適用法などを提示させていただきます!!



ホールC 公開フォーラム

噛める人はなぜ死ぬまで健康で長生きできるのか？

噛めば命の泉湧く

河原 英雄

病院（篠栗病院）歯科の鈴木宏樹先生とペアで、河原先生が通院可能な高齢者の総義歯リマウントを、鈴木先生が病院と在宅での総義歯によるリハビリテーションを全編、実録ビデオでお届けします。むずかしい話は一切なし。「食べる喜び回復実録」をたっぷりお届けいたします。

共同演者：鈴木宏樹

食べられる口づくりを可能にする口腔ケア&口腔リハビリの重要性について

黒岩 恭子

養護学校でブラッシング指導を始めたのは40年前。筋金入りの丸森研究会（横浜臨床座談会）育ちの実践家です。在宅往診を始め、口腔ケアが口腔機能回復の第一歩であることを見出したのです。15年前に「くるリーナブラシ」を開発、いまでは全国の病院の看護師に咽頭ケアを実技指導し、口腔リハビリの普及に奮闘中。

地域包括ケアを支える“口のリハビリテーション”

栗原 正紀

「口のリハビリテーションは医療の根本である」と、口から食べるリハを提唱し、全国のリハビリテーション病院を率いて実践しておられます。脳神経外科医だった当時「救命後のQOLまでも視野に入れた救急」という理念を掲げて長崎市の救急ネットワークを整備されました。患者を生活に戻す回復期リハに転じるのは必然だったのです。



ホールB5 皇居側 修復

MI 審美修復

審美的前歯 CR 充填におけるシンプルなアプローチ

高橋 登

コンポジットレジン修復における日本のトップ、高橋登先生。現在この分野のスピーカーのほとんどが、先生のセミナーを受講しています。そんな先生がお話される「シンプルなアプローチ」とはどんなテクニックなのでしょう。審美的なCR充填を目指す経験の浅い先生から、困難なケースにチャレンジしたい先生までお薦めの講演です。

中等度の酸蝕症に対する低侵襲かつ全顎的な接着修復

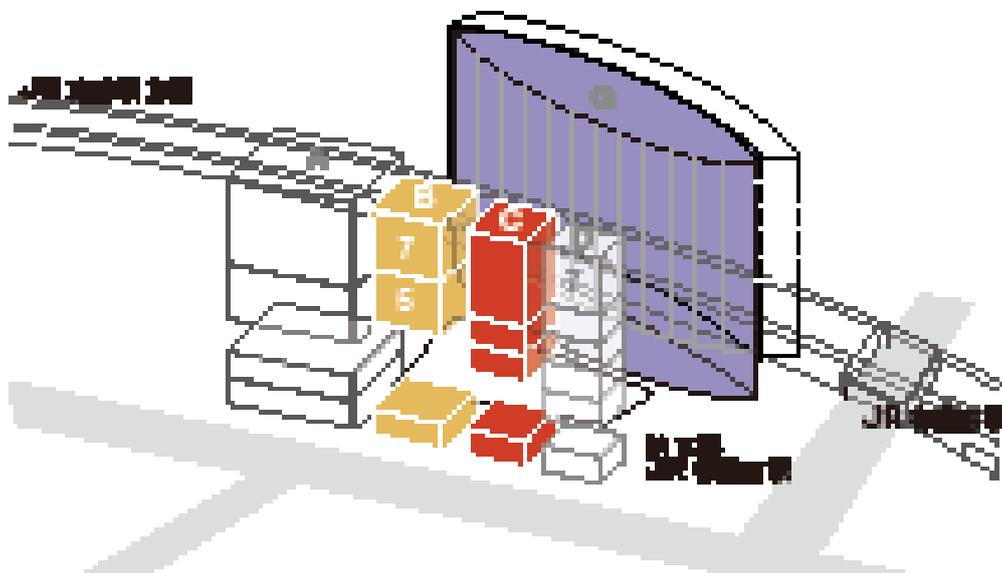
大河 雅之

日本だけではなく、年に何度も海外講演をされている大河先生。海外の方からも賞賛される先生の症例は、診断、スキル、審美修復物、全てがワールドクラスです！！とにかくご覧になればわかります。ぜひ、世界レベルのエキスパート揃いのこのセッションへお越しください。

前歯部セラミック修復における陶材築盛の理論と実践

湯浅 直人

セラミストとして名を馳せている湯浅先生は、インターナルライブステインテクニックを用いて、色の調和と天然歯らしさのバランスについて素晴らしい理論とテクニックをお持ちで、年間で数多くの講演や実技指導を全国各地で行っておられます。ぜひこの機会に先生のノウハウに触れてみませんか？



B5 ホール B5 ガラス棟側 **総義歯** 機能を発揮するための顎間関係記録

生理機能を利用した咬合採得法

吉木 邦男
咬合・審美・補綴治療の権威。特に顎関節や咬合に関しては、古くから MRI やシロナソグラフも駆使して、臨床に携わって来られました。近年は解剖学や生理学も深く研究され、総義歯においても日本を代表する臨床家です。今回は、補綴治療では要となる咬合採得法について、どんなお話をしてくださるのか、絶対に聞き逃さない講演です！

総義歯における下顎位の臨床的決定法

稲葉 繁
「あふれ出る知識・にじみ出る教養」稲葉先生の臨床手技は決して神の手が織りなすものでなく、その卓越した技術は、学際的な蓄積の基にあります。解りやすい解説と、整理された動画はあたかも診察室で臨床見学している錯覚に陥るほどです。咬合学に基づいた臨床が大好きな稲葉先生の講演。おすすめ必聴です。

総義歯の顎間関係における理想と現実

水口 俊介
東京医科歯科大学歯学部全部床義歯補綴学分野主任教授。研究、教育のみならず臨床における見識、手技も素晴らしい大学の補綴分野のエースが登壇です。患者の機能回復を目指した研究、臨床の成果が聞けそうです。総義歯補綴臨床の機能回復のキーワードの1つは顎間記録です。多くの理論がありますが、今回は臨床現場で悩む臨床医のための講演です。無歯顎患者の健康長寿に貢献し高い評価をいただきます。

D7 ホール D7 **新・顎咬合学** 新・顎咬合学 —機能を表現する。機能を捉える。機能を発信する。—

新・顎咬合学 機能を捉える

加々美 恵一
咬合の話は必ず加々美先生に聞いてください！前理事長南清和先生の勤務医時代の先輩で臨床においては師匠でもある加々美先生。現在もスチュアート全調節性咬合器を操り、上村恭弘先生直伝の「咬合」の遺伝子を受け継ぐドクターの講演は必見です！！

超高齢社会におけるインプラントオーバーデンチャーの役割

亀田 行雄
鋳物職人の町、川口市から歯科界の職人、亀田先生のインプラントオーバーデンチャーの役割についての講演です。先見の目を持ち、超高齢社会を見据えて、患者にやさしい医療を情熱を持って語っていただきます。要チェックです。

Longevity を実現するための咬合再構成の考え方

上田 秀朗
日顎副理事長。弁当係から始まり USC 客員教授まで登りつめた平成の豊臣秀吉。天然歯を可及的に保存しつつ、矯正やインプラントを駆使して行う咬合再構成症例の精度の高さと、お酒の強さには定評があります。その品行からは想像もつかない繊細な仕事に驚愕すること間違いなし。さりげなく出される基本治療のクオリティにも注目！

D5 ホール D5 **インターディシプリナリー** 包括治療における矯正治療

一歯対一歯か、一歯対二歯か？ 補綴医と矯正医の共通のゴールを探す

米澤 大地
矯正を伴った一口腔一単位のハイクオリティな治療を実践されている米澤先生。本多正明先生を師と仰ぐ新進気鋭の歯科医師です。矯正医として、また補綴医として咬合を追求し続ける米澤先生にはプロフェッショナルとは何かをいつも考えさせられます。乞うご期待！

矯正治療における新しい診査・診断方法と治療手順

田ヶ原 昭弘
矯正治療においては初診時の診査・診断が非常に重要です。当たり前のようですが、では何をどうすればいいのか？ マルチディシプリナリーアプローチを実践されている先生は、独自の分析で素晴らしい症例を数多く経験されています。その治療の流れも含めて、その核心部分を分かりやすく紹介していただきます。

医療としての矯正治療

筒井 照子
病的な下顎位で全身の不調を引き起こし、苦しんでいる患者はたくさんおられます。筒井先生は苦しんでいる患者と向き合い、全身の健康を取り戻すまでに、幸せに導いた多数の治療実績をお持ちです。生体にとってプラスの方向に導くための矯正治療とはいかなるものか！ 乞うご期待。



ガラス棟 G701 小児歯科 健全な咬合の育成を目指す

乳歯萌出から永久歯萌出における注意 点 歯列咬合、過剰歯、習癖

山地 良子

日顎元理事長。卒直後から国際デンタルアカデミーにて保母須弥也先生に師事。小児歯科専門医でありながら咬合学にも精通し、矯正専門医のご主人とのコラボレーションで乳幼児から高齢者まで、その臨床の幅の広さは圧巻です！ 人に癒しを与えるそのキャラクターは九州の代表として「くまもん」と並び、賞賛されています。

歯の萌出に伴う小児顎骨内部の変化

坂 英樹

明海大学歯科法医学教授である坂英樹先生からは、歯の萌出に伴う小児顎骨内部の変化について講演していただきます。一瞬、学生の頃の Enlow の図を思い出しましたが、あれは骨表面の吸収と添加でした。顎骨内部の変化については語られていなかった気がします。この機会に坂先生の話の聴いて、勉強しましょう。

学校歯科保健活動の重要性について

丸山 進一郎

小児歯科は単に診療室において個人を対象とするだけでなく、集団を対象とした指導啓蒙をも重視する学問です。丸山先生は学校歯科というフィールドで常にトップで活躍され、検診・指導・啓蒙のノウハウを持っている先生です。先生からは、ぜひ、学校歯科医のあべき姿を学びたいと思います。

小児の外傷歯の継続的管理の重要性

橋本 敏昭

福岡県で小児歯科医としてご開業されている橋本敏昭先生は、今回『小児の外傷歯の継続的管理の重要性』について講演していただきます。長年、小児歯科医としてご活躍された橋本先生の経験を共有して、明日からの臨床にフィードバックしましょう。



ガラス棟 G502

インプラント修復の長期予後

外科・補綴失敗症例より学ぶ

インプラント補綴のトラブルとリカバリー

河津 寛

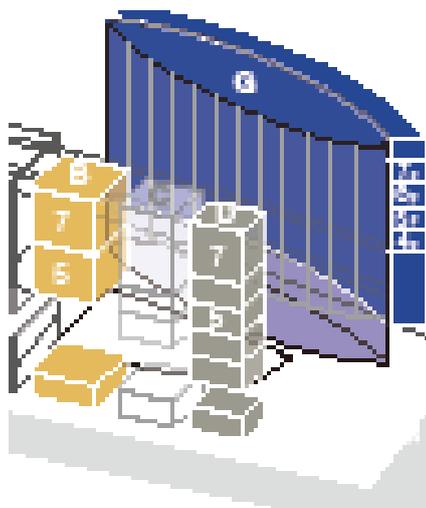
これまで数千本の埋入実績を持つインプラントの第一人者が語るインプラント補綴の話。先生にとってのトラブルは私たちにとって高次元の悩みなのかもしれません。先生の講演は、まるで自分の腕が上がったような錯覚に陥るほど。ドラマチックで、格調高く流れるような臨床手技、絶対にハマりますよ！

インプラント補綴のトラブルとリカバリー

～若手歯科医師からみた歴史～

長谷川 雄一

長谷川先生は、学生時代スキー部に所属され、その腕前は東京都の国体選手に選出されるほどのスキーの達人です。そんな先生は、現在スキーに向けられていた情熱を、歯科へ向けられ『真の歯科医療と患者利益の追求』を理念に日々熱く診療されています。必ずや熱のこもった講演が聴けるはず。必見です。



20年の院内技工による財産

～トラブルとリカバリー～

渡邊 一史

どんなに成功しているインプラント補綴でも、数十年という長いスパンの中では、磨耗や破折などの避けられない問題があります。実際に20年を超える臨床経験に裏打ちされた、リカバリーも考慮した上部構造の設計とその手技を、天才的な技工センスを持つマスター渡邊氏があなたただけにお教えます！

インプラント治療における外科的合併症を回避するために

龍田 恒康

一般臨床医が毎日インレー・クラウンのプレパレーションや、根管治療をするように、龍田先生は、毎日、インプラント治療における外科的合併症に対する危機管理に携わっており、まさにその道のスペシャリスト！これを聴講すれば、先生のチェアサイドにいつも龍田先生がいるも同然です！



ガラス棟 G510 支部選抜発表

若手歯科医師の登壇門支部選抜発表

下顎位が不安定な無歯顎患者に対し
治療用義歯を用いて対応した症例

石尾 知亮

北海道大学高齢者歯科での臨床経験豊富な石尾先生。この演題の様な難症例治療に対し、確固たるエビデンスにもとづいた咬合論はもちろん、なんとといっても、その豊富な臨床経験を活かした総義歯臨床は、必見です！まさに、“噛み合わせが人生を変える”

歯周基本治療による機能回復および
咬合再構成を行った一症例

岡山 啓昌

若手歯科医師の登壇門である支部選抜発表です。各支部のなかでも特に東北支部は、会員発表が活発で、活気のある支部です。その代表選手として今回、宮城県で開業している、岡山 啓昌先生が登壇します。ぜひ皆さん足を運んでください。

筋と顎関節に注目して咬合再構成を
行った一症例

谷本 亨

顎関節症患者で、咬合の崩壊を起こしているような難しいケースの補綴治療において、治療を成功に導くためには3次元的に適正な顎位の決定が重要ですが、臨床的に容易でない事は多くの先生もご経験されていると思います。では実際にどのように行えば良いのか？この発表にはそのヒントが凝縮されています。どうぞお見逃しなく！

多数の先天性欠如を伴う下顎前突症
例における治療ゴールの考察

相宮 秀俊

審美・歯周・インプラントから義歯までオールラウンダーの相宮先生は、若手といえども数々の実績をあげている実力派。2012年のポスターセッションでは優秀賞を受賞。翌年のテーブルクリニックも大盛況。これからの日顎をリードしていくであろう相宮先生の講演、どんな治療ゴールを見せてくれるのか楽しみです。

咬頭嵌合位の維持安定

インプラントを含む全顎的治療

田中 一茂

レベルの高い近畿・中国・四国支部から選抜された田中先生は、九州歯科大学卒業で山口県宇部市の歯科医院に勤務されています。30代半ばにしてインプラントを含む全顎治療をてがける高い志と情熱あふれる田中先生の今後が楽しみです。臨床経験の浅い先生、田中先生と同年代の先生、目指すべき姿が見えてくるかもしれません。

重度歯周疾患に対して全顎的な治療
を行った1症例

～炎症と力のコントロールに基づいた歯周治療を実践して～

筒井 祐介

福岡の雄である筒井先生は、若手とは思えない、かなりの実力をお持ちのオールラウンダーな先生でもあります。筒井歯科医院に受け継がれている「炎症と力のコントロール」は日常臨床に欠かすことのできない大切なところでもあります。きっと、皆さんの明日の臨床につながることでしょ！



セミナー室1

歯科技工士ハンズオン

ナソロジカルワックスアップ

※事前参加登録制

ナソロジカルワッキング

- 歯牙形態と咬合 -

館野 常司

P.K. トーマス先生から学会創設者の保母須弥也先生とともに、非常に信頼された日本のナソロジーの大家であり、カービングやワックスアップ、そしてP.K. トーマス先生の理論による咬合面の絵を作図されるほど、科学者でありながら超芸術的才能も兼ね備えた天才的な歯科医師です。



セミナー室2

認定歯科技工士教育セミナー

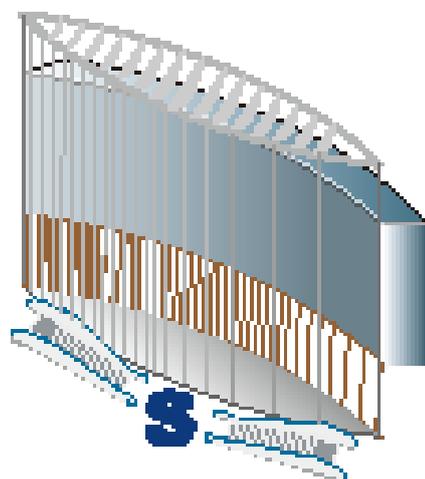
フェイスポートランスファーとチェックバイト

※事前参加登録制

フェイスポートランスファーと
チェックバイト

榊原 功二

調整の少ない生体調和した補綴物を目指して、常に基本に忠実で卓越した技術をお持ちの榊原先生です。口腔内の情報をどのようにして咬合器に再現するか、生体に調和できるかは皆がいつも知りたいところです。今回は、その詳細が聴け、きっと日常臨床で役立つでしょう。基本が大切ですね！





ホールC 認定研修I

高齢者の摂食・嚥下と機能回復

高齢者の摂食・嚥下

弘中 祥司

昨年度の支部認定研修に続き本年度の認定教育研修に登場していただくことになりました。摂食嚥下のメカニズムを知り実践することは、我々歯科医療人にとっては重要な役割であり、ひいては高齢者のQOLの高さに繋がります。弘中先生はこの分野の基礎と臨床の第一人者であり摂食嚥下の実践を身近なものにしてくれるでしょう。

高齢者の健康長寿を求めて

林 揚春

インプラント補綴により機能回復するだけでなく、その後の患者さんの健康寿命を考え、寝たきりや認知症、転倒骨折が起こらないように食事や脚力トレーニングの指導を行い、単なる長生きよりも健康長寿を考えた取り組みをされています。これからの歯科界が必ず取り込む必要のあるお話です！聞き逃さないでください。



ホールB7 左側 咬合高径

包括治療の中での咬合高径に着目する

咬合高径は決められるのか？

内藤 正裕

分っているようでいて分らない咬合高径。ブラックボックスにしまっただけがちな咬合高径。日顎会員なら知っていなければならない咬合高径。真実を深く追い求める内藤先生ならではの咬合高径の講演は一聴の価値あります。臨床経験の浅い先生も、悩み多き先生もぜひ足を運んでみて下さい。車とワインと臨床をこよなく愛する内藤先生の講演は、私たちに考える臨床の重要性を教えてください。

骨格型別における上下顎運動に調和する咬合平面の付与の仕方について

松本 勝利

柔らかいものを咬む時と、硬いものを咬む時の顎運動の違い、小さい食片を咬む時と、大きい食片を咬むときの顎運動の違い、当然存在するはず！さらに、骨格型においてもこれらの動きに特徴があるはず！咬合平面の臨床的意義をご教授いただけます！

顎関節と環軸関節の加齢変化

阿部 伸一

東京歯科大学解剖学講座主任教授。皆さんがご存知のように「臨床に役立つわかりやすい講演」。基礎系のエースで形態解剖から機能解剖、臨床解剖と「臨床に役立つ生涯を考えた解剖学」を構築し、歯科医療関係者だけでなく国民向け講演でもファンが急増中。今回は咬合・咀嚼とともに全身にも影響を与える内容です。新・顎咬合顎学にも大いに貢献していただける講演でワクワクしています。日常臨床とともに自分の健康にも大切な講演となりそうです。



ホールB5 皇居側 メーカーシンポジウム

株式会社ヨシダ

開業医としての47年を振り返って 歯科治療の未来を語る

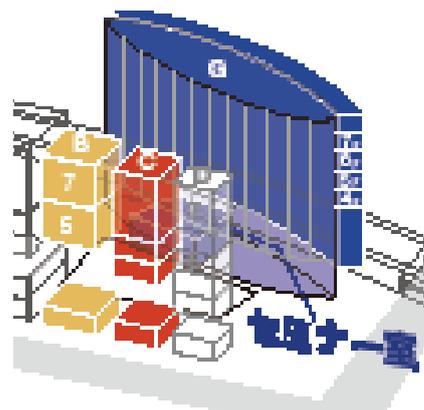
下川 公一

下川歯科医院のホームページにある、「下川公一をインターネットで検索ください」を実行してみてください！臨床医としての下川先生の47年間の偉大な功績を知ることができます。しかし、歯科治療の未来を知ることができません！ここで聴くしかないでしょう！

アメリカにおける歯科レーザー治療の現状 —ペンシルバニア大学歯学部における臨床と研究について—

和田 圭祐

広島大歯学部を卒業し名古屋大医学部大学院にて医学博士号を取得後、ハーバード大大学院で歯学博士号を取得。インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌、PRD誌の編集員を務めるなど、輝かしい経歴をもつ和田先生に、今回アメリカにおける歯科レーザー治療の現状について講演していただきます。最新の話が聞けるチャンスです。聴き逃せませんよ。



B5 ホール B5 ガラス棟側 DH プログラム 学童期から成人まで ライフステージから考える力と炎症のコントロール

口腔筋機能療法 (MFT) の実際

形態と機能の深い関係

高橋 未哉子

高橋未哉子先生は、日々口腔筋機能療法に取り組み多くの臨床経験から著書も多数出版されている MFT の第一人者です。子供の口腔の健康な成長発育を考えると、歯並びに影響を及ぼすと言われる舌と口唇の癖の改善は無視することのできない重要な療法であり、特に歯科衛生士がチェアサイドで関われるスキルと言われています。高橋先生から、明日から取り組めるヒントを沢山もらいましょう。

「炎症のコントロール」 —機能と審美の加齢変化—

安生 朝子

日本の歯科衛生士のバイオニアとって間違いないでしょう。安生朝子先生が30年の臨床経験の中で取り組んできた歯周病との戦い、炎症のコントロールから見えてきた口腔の変化を、今年に加齢という視点からチャレンジします。歯切れの良い朝子ワールドが楽しみです。

メンテナンスに活かそう

まる覚え！ 顎のしくみと顎機能

松島 正和

口腔内の力のコントロールをマネジメントして顎関節を適切に機能させるためには、口の中だけではなく、顎関節や筋肉についても理解する必要があります。実際それは難しいことですが心配はいりません！ 咬合博士の松島先生があのにニコニコ笑顔でとても分かりやすくご説明いたします。「まる覚え」するだけです、はい (笑)

D7 ホール D7

接遇 コミュニケーション

心理学観点からみた患者理解とモチベーション

水木 さとみ

歯科衛生士でありながら医学博士・心理セラピストである水木さとみ先生が歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、受付と、歯科チーム全員に送る心理学からみた「患者理解の深め方」、「モチベーションアップ」のアドバイスです。コミュニケーションにお悩みの方、バージョンアップされたい方、ぜひ聴講してください！

D5 ホール D5

脳科学 口腔機能と全身との関わり医科歯科連携

咀嚼と脳

山田 好秋

新潟大学元副学長、新潟大学歯学部口腔生理学教室元主任教授、現東京歯科大学客員教授。「摂食・嚥下機能」の世界的権威。「咬合・咀嚼が創る健康長寿」(日本学術会議咬合学研究連絡委員会編)の基礎編を構築。長崎大学では補綴学に専念し、ミシガン大学留学時に Ash 教授からその能力を見抜かれ「生理学者」へ転向。補綴臨床に造詣の深い生理学者です。難解な口腔生理学を「脳を中心とした全身との関係を解明しつつ臨床に役立つ口腔生理学」として構築した業績は世界的に高い評価を得ています。明るく、楽しく、役に立つ今回の講演、咀嚼を咀嚼すると新・顎咬合学がさらに理解できそうです。

舌圧と疾患の関係について

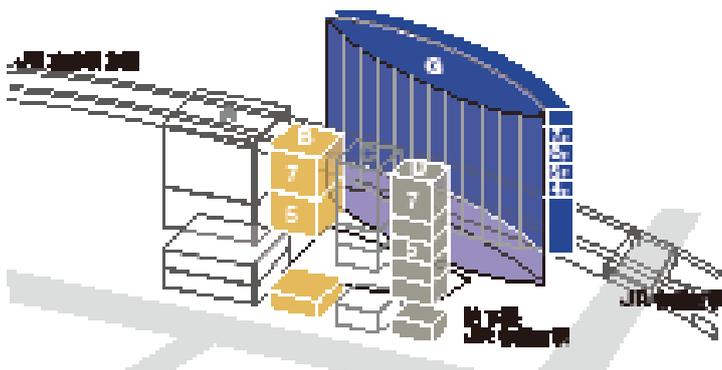
今井 一彰

内科医である今井先生は、「あいうべ体操」を考案され、薬に頼る治療ではなく、薬をできるだけ避ける治療を行っておられます。口を中心とした感染症に造詣が深いことでも有名です。そして我々歯科分野における最大の理解者であり、応援者です。

脳卒中の多面的治療：摂食嚥下の重要性

井林 雪郎

九州大学医学部元准教授、元脳代謝循環教室主任、誠愛リハビリテーション病院院長、九州大学医学部特任准教授。脳卒中(脳循環)領域で我が国を代表する研究者、臨床家。かの有名な久山町疫学研究にも関与していたスーパードクターです。回復期リハビリテーション病院での臨床のみならず、九州の田舎から世界へ論文を多数投稿していることでも有名な医師です。EST (Eat Swallow Team) を院内に立ち上げ口腔機能にも造詣が深く、先生の本会向け講演、これを聴かずして医科歯科連携、介護保険を語ることなかれ。





ガラス棟 G701 ペリオ 歯周外科のトレンド

歯周外科の現存のコンセプト

関野 愉

グローバルな歯周病学の話ときたらこの先生。世界の潮流を独り占めている方です。最近の多くの執筆でもわかるように、溢れんばかりの情報量に先生の中を見たいと思うのは私一人ではないはず。歯周外科のコンセプトを習得する良いチャンス！ 期待は絶対外れません。

ガラパゴスは進化する

白石 和仁

独特なヘアスタイルの白石組組長は臨床も独特！ 型破りな講演、そして、歯を保存するための執念と、こだわり抜いた切開、剝離、デブライドメント、そして縫合などなど、すべての歯周外科のテクニックは聴講者を圧巻！ 筒井昌秀先生のお墨付き！ 歯は抜かないが、聴講者の度肝を抜くこと間違いなし！

前歯の審美歯周治療

陳 柏堅

今回『ピンクエステティック』という聞き慣れない言葉をテーマに講演する陳柏堅先生。その名の通り堅い肩書きを数多く持ち、多忙な日々を送っているにもかかわらずペリオの追求に熱中！ それは最早ペリオ中毒と言える程。蝶（バタフライ）のように常に人々を魅了しその言葉は蜂（ハチ）のようにあなたの心を突き刺す！ くれぐれも講演を聴く前には酔い止めに呑むことを忘れずに…！！



ガラス棟 G502 インプラント インプラントの骨を科学する

メカニカルストレスと骨代謝

横瀬 敏志

先生は世界的な骨の大権威！！ Prof. Boneによるメカニカルストレスと骨代謝の関係を聴けば、これまでわからなかった世界が見えてきます。顎咬合学といっても歯のことばかりじゃいけません。土台のことも理解しなきゃ！ これであなたも骨博士。

自己血を用いた骨再生療法

塚原 宏泰

口腔外科医でありインプラント専門医、海が大好き肉食男子の塚原先生が目指すのは、患者さんの健康を守る総合診療医。豊富な知識と高度な技術力、そして何より患者さんと思う優しい心で診療にあたるスーパードクターです。今回は自己血を用いた骨再生療法を併用したインプラント治療について情熱的に語っていただきます。

インプラント外科における Bone morphology

金城 清一郎

沖縄にこの人あり！ 特に、インプラントの応用の広さやテクニックは卓越しており、日々の研鑽を大切にする金城先生は風貌と異なりとってもお優しい先生で、その治療には常に定評があります。今回のお話の中ではきっと、あっと驚く内容が多く聴けることでしょう。



ガラス棟 G510 PD の設計と咬合 インプラント時代だからこそ部分床義歯を見直そう！

パーシャルデンチャーの再考

黒岩 昭弘

超高齢社会を迎え、上手なデンチャーは歯科医院の差別化には必須のテクニックです。義歯治療のスペシャリスト、松本歯科大学補綴科教授の黒岩先生のわかりやすい理論を背景に、スーパーテクニックを学べば、義歯治療のポテンシャルが高まること確実です。明日からの治療に直結する、パーシャルデンチャーテクニックをマスターしてみませんか！

欠損の捉え方とデンチャーの安定

渡邊 祐康

阿蘇山からの刺客！ 次々に歯がなくなる危険性がいっぱい欠損歯列に、前 KDM 会長が長年培った、より長期的に欠損歯列を維持するためのノウハウを余すところなく披露してくれること間違いなし！ 少数歯欠損から多数歯欠損まで、デンチャーで悩んでいる先生方必見！

超高齢社会における部分床義歯の重要性

—長期経過症例からの検討—

豊間 均

日本大学歯学部診療教授。日本大学歯学部補綴学第 II 講座（局部床義歯学講座）で長年にわたり臨床、研究、教育に従事。卒業生に多くのファンがおられる部分床義歯臨床の専門家。最近では部分床義歯の講演をできる先生が少ないのが現状です。長期的予後症例はさらに少なくなります。そこで今回の講演です。先生の臨床、教育に対する情熱で部分床義歯が楽しくなりそうです。



セミナー室1

歯科医師ハンズオン

支台歯形成

※事前参加登録制

生物学的支台歯形成の習得

小林 守

ご存知大阪歯科界の重鎮、セミナーでも有名な小林守先生です。小林先生の今回の演題はこれ！「生物学的支台歯形成の習得」歯周病にも造詣が深い小林先生ならではの有意義な講演を聴くことができるでしょう。楽しみです！



セミナー室2

認定歯科衛生士教育セミナー

歯科衛生士が知っておきたい咬合のこと

※事前参加登録制

歯科衛生士に必要な咬合学

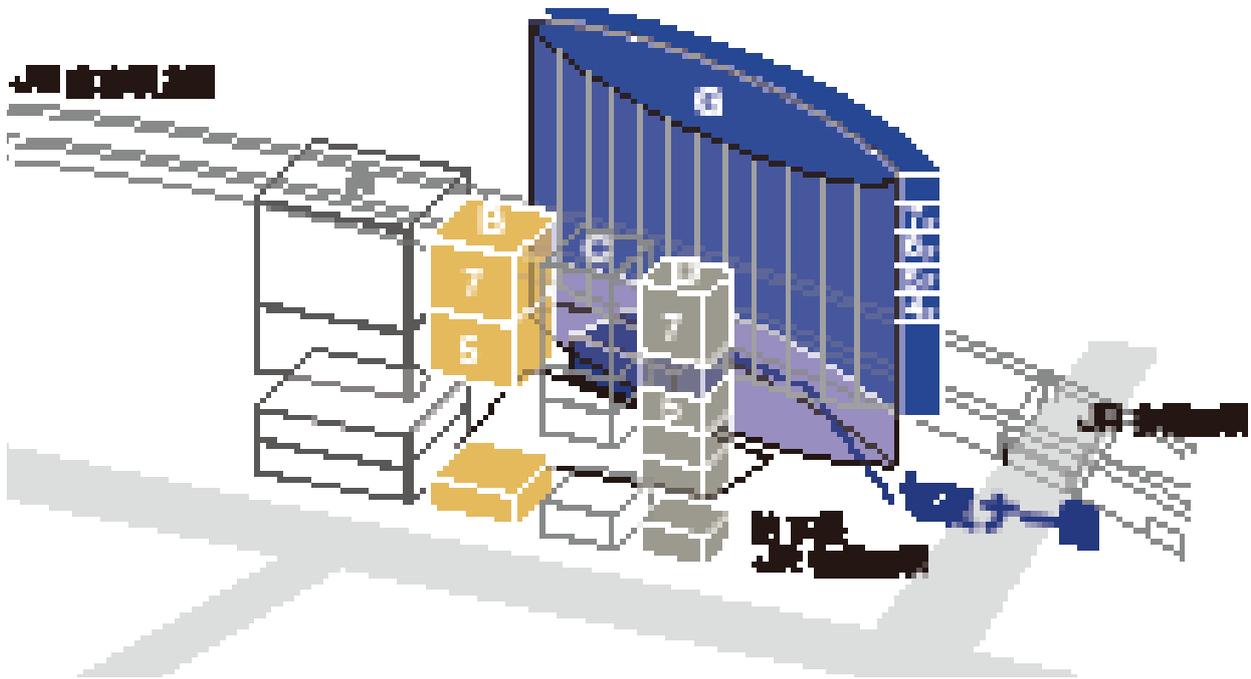
—見えない力を診てみよう—

加々美 恵一

性格は心優しく、全てにおいて真面目で学会では副理事長として献身的に会をフォローされております。しかし咬合に関しては優しくなく厳しいです。歯科衛生士の皆さん、咬合を学ぶ絶好のチャンスです、見逃さないください。

俵木 勉

本学会の支部委員会委員長である俵木先生は、全国の支部学術大会に出席し、各支部をまとめるという大変な役職をされている先生です。そのような先生は一言で言うと『いい人』です。今回は歯科衛生士さん向けに咬合について講演します。歯科衛生士さん向けにやさしく分かりやすく講演していただけること間違いなしです。



ランチョンセミナー 6月28日(日) 12:10-13:00

KaVo システムによる顎関節症の診断と治療

稲葉 繁

40年以上にわたる顎関節治療の取り組みの中で「全身と咬合」との関わりを強調される稲葉先生の臨床で根幹をなす咬合診断の極意を、整理された動画で解り易く解説されます。歯科医師にとって咬合治療がいかに大切か力説されます。明日からの臨床にすぐに役立つ内容満載!!

カボデンタルシステムズジャパン株式会社

デンチャープラークと義歯洗浄剤

二川 浩樹

広島大学教授の二川先生の専門は口腔生物学です。2002年より歯を抗菌加工して菌の付着を防げないかと固定化抗菌剤(消毒成分)の研究をされ、感染の拡大を防ぐ固定化できる抗菌抗ウイルス消毒薬の開発で、文部科学大臣表彰「科学技術賞 開発部門」を受賞されました。

ロート製薬株式会社

ストローマンからの提案 (予知性を考慮した審美性と機能性の確立)

小濱 忠一

小濱先生のインプラント症例、特に審美性の精度が求められる前歯部インプラント症例を見て、ため息をつかれた方も多いはず!これをなし得るには、術前の診査・診断はもちろん、症例に適切な治療法の応用、リスクファクターへの対応などですが一人で考えるのは難しいです。小濱先生に聞くのが最善の策です!

ストローマン・ジャパン株式会社

口腔内スキャナーの現況

—デジタル歯科の本格化—

未定

スリーエムヘルスケア株式会社

症例に応じたインプラントの選択

林 揚春

誰もが知っている、抜歯即時埋入インプラントの第一人者である林揚春先生! 大胆な性格、繊細な神の手を持つ林先生にしか不可能な症例も多数あります。セミナーを開催してもすぐに満席になる大人気の先生の講演を聴けるチャンスです。皆さん楽しみに、ぜひご聴講ください。

株式会社白鷗

新たに保険適用されたメタルフリー、高強度硬質レジン「ミヤビ」について

三浦 宏之

臨床に発展する国際的な研究に携わっておられる、東京医科歯科大学教授の三浦宏之先生にご紹介いただくのは、今までより大きな曲げ強度を有する高強度歯冠用硬質レジンを用いた修復についてです。研究データや臨床をベースにしたもの静かで説得力ある講演は、大変分かりやすく、新たな治療の選択肢として明日の臨床に役立つことと思います。

デンツプライ三金株式会社

「患者管理」と「医院経営」システム化の必要性について

寺西 邦彦, 若林 健史,
熊谷 靖司, 天川 由美子

日本の歯科臨床レベルを世界水準まで引き上げた功労者の一人寺西先生。某CMでその名声はもはや全国区の若林先生。講演内容よりも、その美貌を観に来る会員もいる日頃のヴィーナス天川先生。曾祖父の時代から代々医療に携わってきた家系に生まれ、いち早く、口腔と全身疾患との関連性に着目してこられた熊谷先生。顔ぶれはもちろん、驚き連発の時間となること間違いなし!!

株式会社ストランザ

インプラントと審美における論争と革新

日高 豊彦

鶴見大学歯学部総合診療科診療教授の肩書きも持ち、審美・インプラントその他多方面に深い知識と技術を併せ持つ開業医。その卓越したテクニックと基礎的な研究にも詳しい誰もが認めるスーパードクター! 理論的でわかり易い講演は、その圧倒的な臨床のクオリティと親しみやすい人柄とともに、聴きに来てよかったなと誰もが納得できるはずです。

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

ランチョンチケットについて

各ランチョンセミナーの整理券(ランチョンチケット)は、各協賛企業の出展ブースにて配布いたします。

配布日時: 6月28日(日) 9:00 ~ (配布終了まで)

場所: 各協賛企業出展ブース(地下2階展示ホール内)

B
ホール
B7

B
ホール
B5

D
ホール
D7

D
ホール
D5

G
ガラス棟
G701

G
ガラス棟
G502

G
ガラス棟
G510



ホールC LIVE

総義歯

噛める総義歯を作ろう

リマウントによる総義歯の咬合調整

河原 英雄

デモは「衛生的に管理された大道芸」と河原先生は言います。大道芸の総義歯は、患者のダメ義歯を目の前で調整し、たちまち一変ご喝采。ナソロジー、インプラント、審美歯科と活躍した河原先生が、若い歯科医からの総義歯の報告に「こんなにワクワクしたことはない」と話されます。調整中の舞台では、その「食べる喜び回復報告」が13例。

須藤 純

練馬区にある歯科医院では、総義歯患者が行列をなす歯科医院。総義歯にかける情熱は本物です。今後のますますの活躍が期待される若手歯科医師です。

<共同演者>

大坪岳史(大坪デンタルクリニック)
尾崎洋美(丸尾歯科医院勤務)
加藤友寛(かとう歯科・矯正歯科)
小島博文(こじま歯科医院)
近藤英臣(近藤歯科医院)
久野麻弓(久野歯科クリニック)
鈴木宏樹(篠栗病院勤務)
高森亜矢子(高森歯科医院)
高森祐介(高森歯科医院)
吹譯浩史(ふきわけファミリー歯科)
宮澤 碧(みどり歯科クリニック)
元島道信(元島歯科クリニック)



ホールB7 左側 審美・CAD/CAM

進化するCAD/CAM 修復 ~これからの展望~

CAD/CAM 用歯科材料の進化と展望

伴 清治

伴先生は歯科理工学界の権威であり、最近ではジルコニアを始めとするCAD/CAMやインプラントの研究に余念がなく、これからの歯科材料の発展に大きく貢献される人物です。

進化するCAD/CAM

~データを活かす方法を考察する~

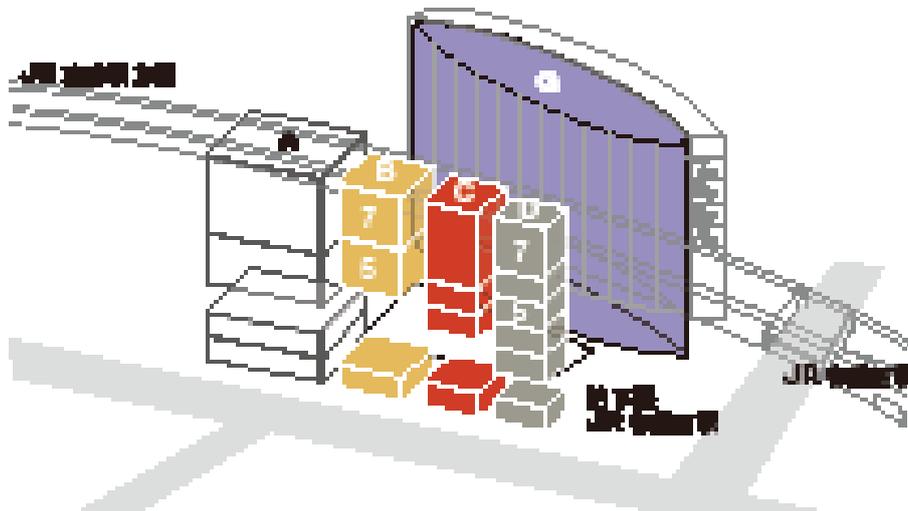
木村 健二

木村先生は歯科技工士として早くからCAD/CAMに携わり、使用するマテリアルやシステムについても多くのノウハウをお持ちの先生です。これからの時代、CAD/CAMなしではやっていけない歯科臨床。ぜひ、この機会に木村先生にどのようにCAD/CAMのデータを活かせば良いのかを聞いてみる価値があります。

効果的な修復材料の選択と合着方法

日高 豊彦

“寝ているとき以外は歯のことばかり考えている”と仰る日高先生。世界の歯科医療のいろんな潮流やブームを体感され、さまざまな材料にも熟知されておられます。そんな先生がお話しされる今回のテーマ！まさに、真のグローバルスタンダードに基づいたお話が聴けます！





ホール B5 皇居側 メーカーシンポジウム 患者利益追求のためのCAD/CAMレステーション

クラレノリタケデンタル株式会社

CAD/CAM テクノロジーを用いた修復治療の現状

末瀬 一彦

昨年より、ついに保険導入されたCAD/CAM冠。賛否両論あると思いますが、新しい技術とシステムを導入するメリットは多いはず。しかし逆にデメリットもあることでしょう。演者の末瀬 一彦先生は、歯科医師、歯科技工士の架け橋的存在です。その立場からCAD/CAMについての最新のレクチャーが聴けると思います。

歯冠修復イノベーションの時代をどう生きるか

～ハイブリッドセラミックスの保険導入～

高橋 英登

東京都杉並区で開業されている高橋英登先生は、歯科医師になって約40年間、歯科医療のTopを邁進してきた先生です。過去を知り、現在を走る先生の未来予想図はどのようなもののでしょうか？ 高橋先生だから語れる、明るい未来があると思います。老若男女問わず、ぜひ、会場に足を運んで明日からの勇気ももらいましょう。

健康寿命を延伸させるために求められる補綴修復の戦略的アプローチ

～特に、中年から高齢者を中心に～

柏田 聡明

健康寿命を延伸させるためには、歯科医師としてどのようなことを考える必要があるのでしょうか？ 理想は天然歯での咬合でありませんが、補綴修復を行わなくてはならない時、皆さんはどのように考えますか？ 日本接着歯学会元副会長の柏田聡明先生に、その長い臨床経験をバックボーンに講演していただきます。



ホール B5 ガラス棟側 咬合再構成 包括治療の進め方 ～予後経過からの考察～

これからの包括的治療を考察する

- 客観的基準をもちいて -

貞光 謙一郎

貞光先生は、日本顎咬合学会をはじめ、多くの場において活躍されている有名な先生であり、しっかりとした根拠を持って日々の臨床に取り組まれています。だからこそ、客観的な評価基準をどのように診療に役立て包括的治療を確実に行うかを詳しく教えていただけることは間違いないです。

スマートロジと咀嚼運動路をベースにした包括歯科臨床の実際

木下 俊克

包括歯科臨床学会の重鎮が登場！ 筒井照子先生のお膝元で咬合療法のなんたるかを知り尽くしている先生です。咬合療法と楽しいお酒の飲みっぷりには定評あり！ 口腔内だけでなく姿勢や顔貌も含めて、全身を治したいとお考えの先生方必見！ アナタにも態癖あるかも・・・？

“Longevity” から咬合再構成を考察

本多 正明

最近咬合のことを語ってくれる講師は少なくなりました。その中で、咬合について頑固なまでのこだわりを持ち、進化し続けてきたのが本多正明先生です。机上の空論ではなく、長い臨床経験の中で、成功にもトラブルにも真摯に向き合ってきたからこそ語れるリアリティ。明日からの臨床にきっと役立つ何かを得られる講演です。



ホール D7 インプラント インプラント周囲炎について

インプラント周囲の病態と再生

井上 孝

東京歯科大学の井上孝教授は、以前からインプラントは生体にとって異物であると言い続けています。しかし、インプラントに対して決して否定的ではありません。今回はインプラント周囲の細胞、組織反応を病理組織学的立場から、わかりやすく解説していただけるそうです。乞うご期待。

インプラント周囲炎 臨床的予防法・対処法

水上 哲也

九大臨床教授の再生療法の大家見参！ 世界を股にかけ、幅広い分野で大活躍中！ 糸瀬正通先生の愛弟子としてインプラントにも精通し、九州に新しい旋風を送り込んでいるJUC代表。長年にわたり、ペリオの考え方に基づいたインプラント周囲炎の予防法はインプラントに悩んでいる先生方必見！！

インプラント周囲炎 臨床的予防法・対処法

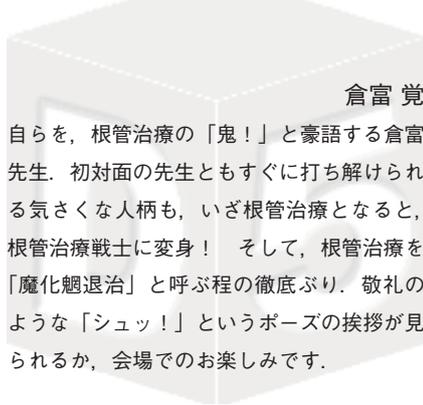
～歯科衛生士の立場から～

下田 裕子

インプラントの成功率は、その後のメンテナンスで左右されます。そのメンテナンスしていく上で歯科衛生士が一番聞きたい、インプラント周囲炎の具体的な予防法や対処方をメンテナンス経験豊富な下田裕子先生がわかりやすく解説していただきます。



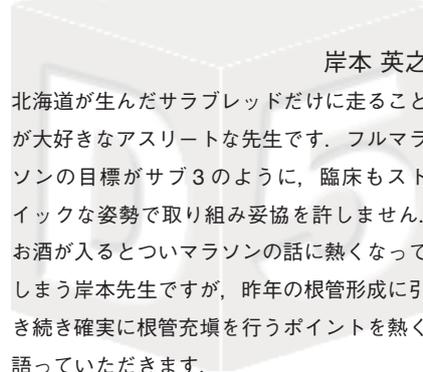
緊密な根管充填のためのステップ



倉富 覚

自らを、根管治療の「鬼！」と豪語する倉富先生。初対面の先生ともすぐに打ち解けられる気さくな人柄も、いざ根管治療となると、根管治療戦士に変身！そして、根管治療を「魔化魍退治」と呼ぶ程の徹底ぶり。敬礼のような「シュッ！」というポーズの挨拶が見られるか、会場での楽しみです。

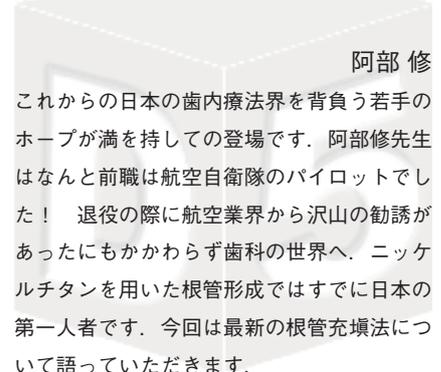
根管系を3次元的に封鎖する垂直加圧根管充填のポイント



岸本 英之

北海道が生んだサラブレッドだけに走ることに大好きなアスリートな先生です。フルマラソンの目標がサブ3のように、臨床もストイックな姿勢で取り組み妥協を許しません。お酒が入るとついマラソンの話に熱くなってしまう岸本先生ですが、昨年の根管形成に引き続き確実に根管充填を行うポイントを熱く語っていただきます。

簡便な操作で質の高い根管充填を可能とする“コアキャリアー法”

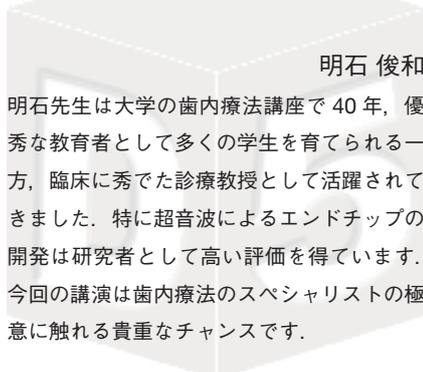


阿部 修

これからの日本の歯内療法界を背負う若手のホープが満を持しての登場です。阿部修先生はなんと前職は航空自衛隊のパイロットでした！退役の際に航空業界から沢山の勧誘があったにもかかわらず歯科の世界へ。ニッケルチタンを用いた根管形成ですすでに日本の第一人者です。今回は最新の根管充填法について語っていただきます。

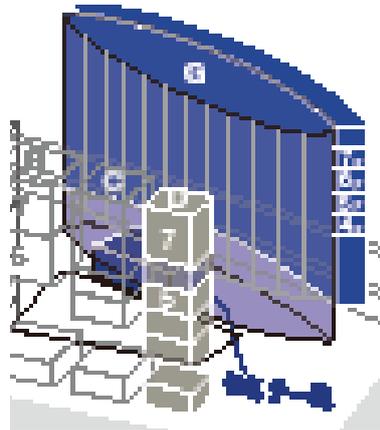
再感染防止のための根管充填法

- とくに GP の重要性について -



明石 俊和

明石先生は大学の歯内療法講座で40年、優秀な教育者として多くの学生を育てられる一方、臨床に秀でた診療教授として活躍されてきました。特に超音波によるエンドチップの開発は研究者として高い評価を得ています。今回の講演は歯内療法のスペシャリストの極意に触れる貴重なチャンスです。

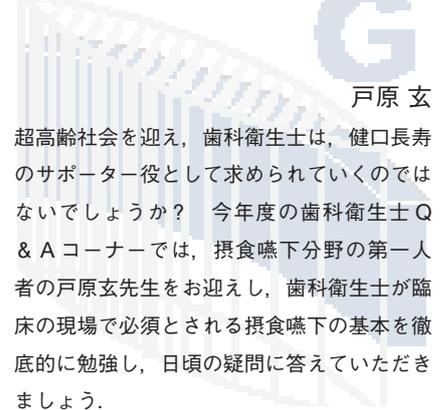


ガラス棟 G701

DH Q&A

摂食嚥下

摂食嚥下リハビリテーション



戸原 玄

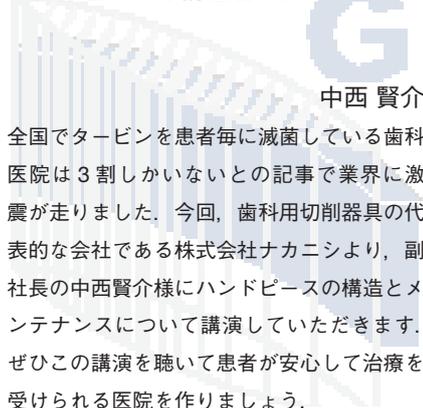
超高齢社会を迎え、歯科衛生士は、健口長寿のサポーター役として求められていくのではないのでしょうか？今年度の歯科衛生士Q&Aコーナーでは、摂食嚥下分野の第一人者の戸原玄先生をお迎えし、歯科衛生士が臨床の現場で必須とされる摂食嚥下の基本を徹底的に勉強し、日頃の疑問に答えていただきます。



ガラス棟 G502 消毒・滅菌

知らないでは済まされない院内感染対策
ハンドピースの滅菌を考える

ハンドピースの構造とメンテナンス

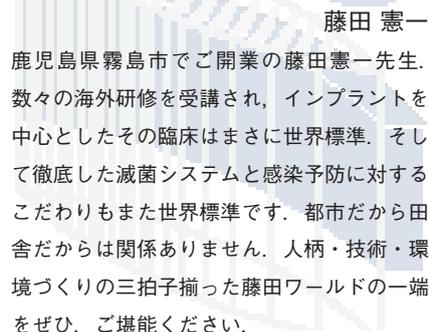


中西 賢介

全国でタービンを患者毎に滅菌している歯科医院は3割しかいないとの記事で業界に激震が走りました。今回、歯科用切削器具の代表的な会社である株式会社ナカニシより、副社長の中西賢介様にハンドピースの構造とメンテナンスについて講演していただきます。ぜひこの講演を聴いて患者が安心して治療を受けられる医院を作りましょう。

当医院で行っている滅菌システムの紹介

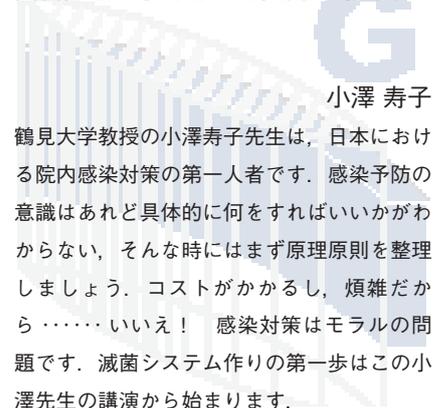
～タービン編～



藤田 憲一

鹿児島県霧島市でご開業の藤田憲一先生。数々の海外研修を受講され、インプラントを中心としたその臨床はまさに世界標準。そして徹底した滅菌システムと感染予防に対するこだわりもまた世界標準です。都市だから田舎だから関係ありません。人柄・技術・環境づくりの三拍子揃った藤田ワールドの一端をぜひ、ご堪能ください。

歯科医療に求められる院内感染対策



小澤 寿子

鶴見大学教授の小澤寿子先生は、日本における院内感染対策の第一人者です。感染予防の意識はあれど具体的に何をすればいいかわからない、そんな時にはまず原理原則を整理しましょう。コストがかかるし、煩雑だから……いいえ！感染対策はモラルの問題です。滅菌システム作りの第一歩はこの小澤先生の講演から始まります。



ESP における Rapport の構築

菅野 詩子

日顎東北のマドンナ詩子先生！幅広い見識をお持ちながら、周囲への気遣いとサポートは温かく、いつも場を和ませてくれます。先生の英語は英語の苦手な方でもすいすい頭に入ってくるような感じで、まるで魔法にかかった様なものかも知れません。そんな先生のお話には、皆さんはきっと釘付けになることでしょう。いざ、拝聴！

確かな包括的審美歯科治療

—3人のスペシャリストのコオペレーション—

李志如, 胡兆仁, 何鳳娟

『インターディシプリナリー』というコンセプトは、もはや我々歯科治療に浸透しつつあります。一つの講演の中に台湾歯学界の紳士である矯正専門医の胡兆仁先生とアジアビューティーの歯周病スペシャリストの何鳳娟先生、そして自由奔放であふれる野生の審美補綴医の李志如先生、個性的な3人の審美に対する熱い想いを聞きになったらもう胸の高鳴りが止まらない。貴方に響け、極上の三重奏！

クラックトゥースシンドロームについて

天川 由美子

去年はメディアにも登場！！セミナーでも引く手数多！非常に多忙な天川先生。お忙しいにもかかわらず、その美貌は増していくばかり。今回の演題は「クラックトゥースシンドローム」。マイクロスコーブを活かし、歯を守るための診断・治療法についてご講演していただきます。美しい笑顔だけでなく、講演内容も必見です！！

臼歯部咬合崩壊に対する総合的な改善を求めて

中島 稔博

北九州歯学研究会のホープで、エンド、ペリオ、矯正、インプラント何でもござれのオールラウンダー。その研ぎ澄まされた臨床はまさにゲイ術！ひとつひとつの手技はもちろん、スピードラーニングで培った英語力も一見の価値あり。もう、あなたも中島先生のHG（ハイグレード）な世界の虜になってしまうかも！？

海外の学会における発表のハウツー
～私個人のいくつかのケースにておいて～

山本 仁

山本 仁先生は、北海道出身のマルチタレントな国際人です。学歴だけでも神戸のアメリカンスクールから、カナダのハイスクール留学、慶應義塾大学法学部卒業、日本歯科大学卒業、東京医科歯科大学にて学位取得と目を見張るものがあります。現在でも、沖縄・石垣島を活動拠点として毎年20万マイル（地球7周）は飛行機で世界を駆け巡り IADR 会員として、日本以外でも多くの発表をこなされております。



セミナー室1

歯科衛生士ハンズオン

SRP ※事前参加登録制

シャープニングから始めよう！
スケーリング・ルートプレーニング

池田 育代

歯周治療は歯科衛生士の重要な仕事でありながら、なかなかマスターできずに自己流に陥って悩んでいる方が多く見受けられます。池田育代先生は関西を中心に多くのセミナーを手掛けてこられています。優しく丁寧にわかりやすい指導が好評です。これまでの疑問や不安が一気に自信に変わるでしょう。



セミナー室2

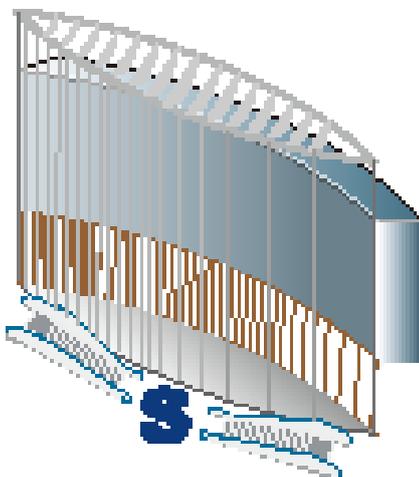
認定医教育セミナー

咬合 ※事前参加登録制

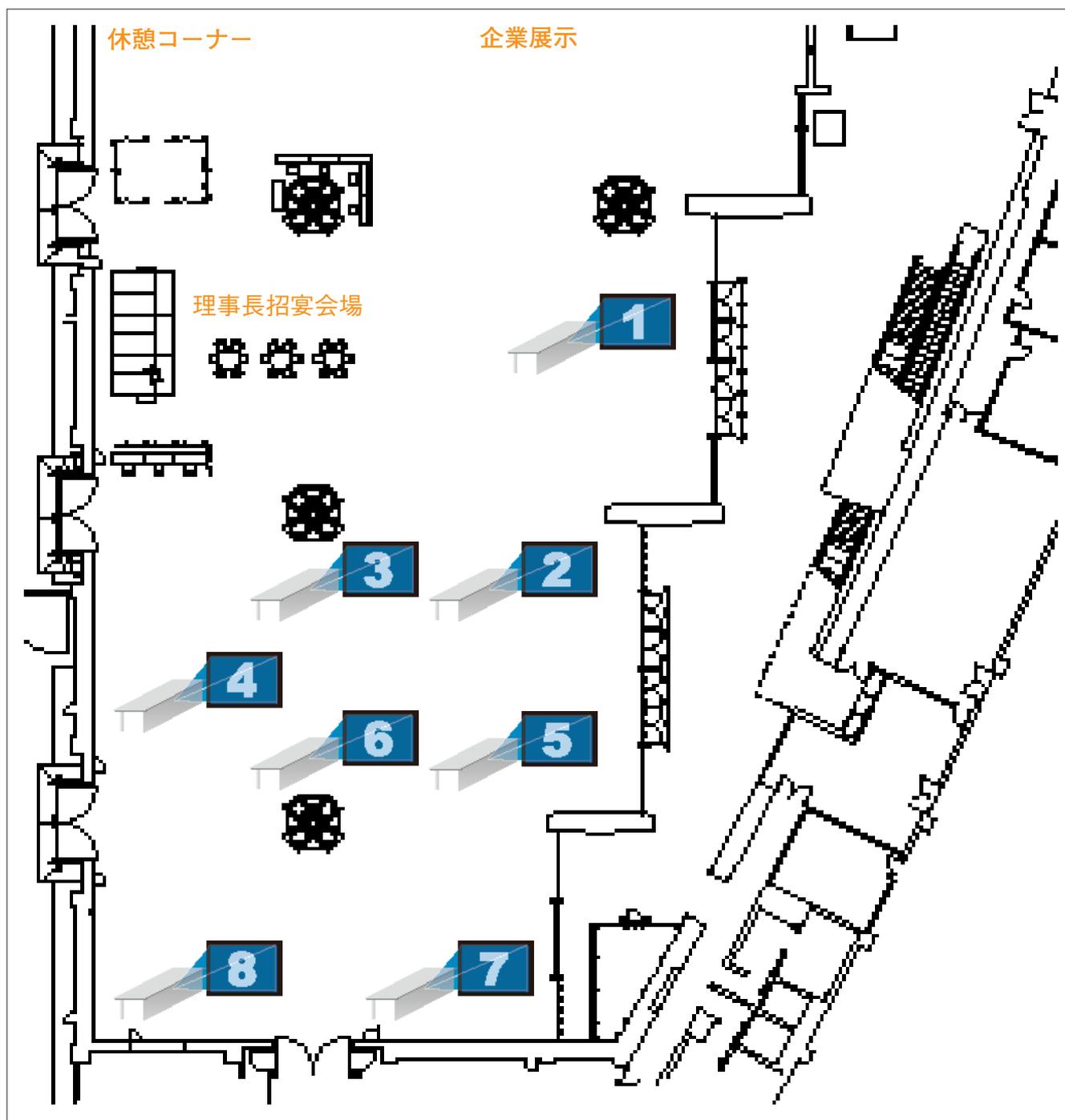
安定した咬頭嵌合位を求めて

菅野 博康

保母須弥也先生の帰朝後初の講演会は、実は博多で行われました。おそらく咬合を重んじる学派も、そこに最初に芽吹いたに違いないのですが、後に、ナソロジストをもって任ずるようになるドクターたちは、まだ姿はありません。最初期から保母先生の警咳に接しながら、飛ぶ鳥を落とす勢いのナソロジーから一步距離をおいて咬合を凝視してきたのが菅野先生です。いやしくも咬み合わせ認定医たるもの、そのひとと言ひと言を翫味すべし。



テーブルクリニック会場 B2F 展示ホール



展示ホール内のご案内

理事長招宴

日時：6月27日（土） 17:15～18:15
 前回大会の会員発表優秀者、矢澤一浩賞、
 学会誌優秀論文賞、カボデンタル賞、モリ
 タ賞、ヨシダ賞の表彰を行います。軽食と
 お飲み物をご用意しておりますので、皆様
 のご参加をお待ちしております。

休憩コーナー

利用可能時間：
 6月27日（土） 12:30～17:00
 6月28日（日） 9:00～16:45
 お飲み物をご用意しておりますので、ぜひ
 ご活用ください。

企業展示

開催日時：
 6月27日（土） 12:30～19:00
 6月28日（日） 9:00～16:45
 89社が出展します。ぜひ会場に足をお運
 びください。



テーブルクリニック

セッション 1

6月27日(土) 13:30 ~ 14:40

永続性につなげる歯内療法の基礎と臨床

1 吉川 宏一

吉川先生曰く、治療結果の永続性を獲得するためには「手を抜かず、しなければいけないことを徹底的にやり抜くこと!」。歯内療法において、複雑な根管系をいかに無菌化し、いかに緊密に填塞するかは永遠のテーマですが、それを基礎と臨床の両面から語り尽くしていただきます。自分が受けた治療を患者に提供したいと考えているあなた! 必聴です。

小児期の筋機能を考慮した口腔育成 - 機能的矯正装置の応用 -

2 大石 暢彦

大学を卒業して日本歯科大学の高齢者歯科に入り、「某先生の鞆持ちから始めたんだよ」と語る先生の臨床に対する情熱は熱く、今では本学会の常任理事として活躍しています。今回は、小児期の筋機能を考慮した口腔育成について講演していただきます。

基礎から見直そう! インスツルメンテーション

3 鍵和田 優佳里

歯科衛生士業務として最も重要なスケールング・ルートプレーニング成功の秘訣を基本からワンランクアップまでのエッセンスを昨年 SRP ハンズオンの講師を務めた、あの鍵和田優佳里先生からもう一度教えてもらえるチャンス到来です。

インプラント補綴における咬合と臨床的検討

4 久野 富雄

名古屋で技工所を開業している久野富雄先生は、技工の教育関係の本を多数執筆されています。今回は、インプラント補綴における咬合と臨床的検討について講演していただきます。患者固有の口腔に対応するというコンセプトに研鑽を積む先生の臨床に対する姿勢に刺激をうけ、ぜひ明日からの臨床に活かしましょう。

審美歯科修復の How to

~ 歯科技工士とのコラボレーション ~

5 小林 英史

支部選抜の第一回若手支部選抜発表の優勝者“ヒデ先生”の登壇です。さらに弟の“トモ先生”も引き連れて、審美修復について語っていただきます。口の中の治療なのに、顔貌や人格まで美しくなる、なぜ?それを成し遂げるためのエビデンスから細かいテクニックまで披露していただきます。

ペリオとインプラントのためのソフトティッシュマネジメント

6 吉田 拓志

韓国で講演しアワードを受賞している吉田先生の歯周外科を見ましょう! 昨年の支部選抜優勝者です。歯周治療を極めた先生が軟組織をどのように touch するのか楽しみです。必見です!

共同演者: 小林 友貴, 岡本和真

TM Sinus Lift Kit[®] と Hatch Reamer[®] を用いた新しい低侵襲・経歯槽頂上顎洞挙上手術

7 室木 俊美

上顎洞挙上手術がインプラント治療のオプションとして身近になり、多くの臨床家によりラテラル、クレスタルの様々な術式が紹介されている今日において、特に経歯槽頂上顎洞挙上手術について、TM Sinus Lift Kit[®] と Hatch Reamer[®] を用いての、より安全で予知性の高い治療術式が今回ついにベールを脱ぎます!

PYTC 私流

8 安生 朝子

あなたは超音波派? エアースケーラー派? これらをどのように使い分けていますか? こんな疑問や使ってみたいとの要望など、それらの声にお応えし安生先生によるエアースケーラーのご紹介です。特に近年エアースケーラーには専属のブラシを付けてスケールン、デブライドメントだけでなくプラーク除去が可能となり、メンテナンスを行う DH には強い味方です。目からうろこのセミナーです。



テーブルクリニック

セッション 2

6月27日(土) 15:10～16:20

どうやっているの？

訪問診療

1

清水 崇雪

新進気鋭の若手歯科医師。使命感と正義感にあふれる訪問診療のスペシャリストは、あの歯周病治療で有名な清水雅雪先生の御子息です。超高齢社会の今、訪問診療の重要度は高まるばかりです。診療室での治療とは全く異なる環境下での診療ノウハウを、余すところなく語っていただきます。ご期待ください。

精度の高い補綴物作製のために押さえておくべき印象採得・咬合採得の勘所

脇本 貢

日本顎咬合学会九州支部長として当学会に長年貢献されてきた、まさに重鎮！ 保母須弥也先生に師事、国際デンタルアカデミーで培った、多岐にわたる臨床経験を引っさげ、今回は補綴処置の基本である印象採得・咬合採得で皆さんの臨床の悩みにお答えします。

メンテナンス

- 歯科衛生士の視点 -

3

鈴木 朋湖

「メンテナンスを行っています」という人は年々増加していますが、本当のメンテナンスとは？ 「価値がある」「受けていてよかった」と言われるメンテナンスを行っているか？ と聞かれると自信がない方が多いのでは？ では、DHの視点からどんなことを考えていたらよいのでしょうか？ そんな疑問に鈴木朋湖先生が関西弁でお答えします。

ゲルバー理論を活用した総義歯製作

4

須藤 哲也

多くの歯科医師から義歯製作の依頼を受ける須藤先生は総義歯に関する詰めはものすごい！ 近年、全国をにぎわしている義歯のスターグループでも活躍されています。義歯についてもっと知りたい歯科医師、歯科技工士ともにきっと勉強になることでしょう。日常臨床のヒントも隠されているかもしれません。

治療用義歯から見えてくる義歯の形

- 総義歯治療 難症例から -

5

松丸 悠一

現代の入れ歯師？ それともさすらいのドクターK？ 総義歯で困っている患者のために、全国渡り歩く総義歯治療専門歯科医師。総義歯治療のエビデンスを基に匠の世界を併せ持つ、総義歯治療だけで生きる男がどんな難症例にも挑む姿を見てみましょう。

Win-Win-Winの職場作りを目指して

6

林 美穂

WDC会長で女性歯科医師のオピニオンリーダー的存在！ 臨床はもちろん、多岐にわたるバランス感覚は男勝り！ しかしその容姿や人に対する心遣いはまさに美魔女！ これで医院の総合力アップ間違いなし♥ あなたもミポリンの魔力で虜にならないようご注意くださいあそばせ！

アクアバランス 薬用マウスブレイではじめるお口の保湿ケア

佐藤 美智代

昨今高齢化が進み、様々な原因で唾液の量が減り口が渇くことを主訴で来院される患者が増えている。今回佐藤先生が講演なさるアクアバランスは、持ち運び便利なスプレータイプで、外出先でも口の渇きが気になるときに使用できる便利グッズ。口の渇きを主訴としている患者さんがおり、困ってる方には必見です。

企画

8



テーブルクリニック

セッション 3

6月28日(日) 9:30～10:40

歯周治療成功の鍵“Concordance”



辰巳 順一

一生懸命歯ブラシ指導しているのに関心を持ってくれない、磨いてくれない、せっかく治療して歯周病が改善したのに定期検診に来てくれない、たまに来るとまた悪くなっている……という経験、ありますよね。このテーブルクリニックでは、このような事例に対応する1つの対応法(技法)を辰巳先生がわかりやすくご紹介してくれます。歯科医療に携わる方ならどなたでも聞いてためになること請け合いです。

CAD/CAMによるバーチャルアーティキュレーションの現状



草間 幸夫

日本臨床歯科CAD/CAM学会の会長である草間幸夫先生の講演です。現在の臨床においてCAD/CAMでどれだけ効率的に、高精度に修復物を作製できるかが重要である中で、ソフト内の咬合器を調節し自由自在に顎運動を再現可能にするバーチャルアーティキュレーションの現状について、ぜひ皆さんご聴講ください。

長期症例から学ぶこと



品田 和美

長期症例を語る上でこの人の右に出る人は、いません。歯科衛生士として患者を長くみていく中で見逃しては、いけないポイントがあります。多くの患者と長期に関わってきたからこそ見えてきた患者のターニングポイントをどう察知していくのか、品田和美先生からそのヒントをもらいましょう!

テレスコープシステムの最新技術

その基礎と実践



中沢 勇太

IPSG 包括歯科医療研究会で注目されている歯科技工士のホープ、中沢先生です! 歯科技工士の学会などで、優秀賞を受賞されるなど、日本に限らず、世界を視野に活躍が期待される先生です。三位一体の学会を掲げる日顎の一翼を担っていただく存在です。

失敗から学ぶ長期成功のためのインプラント上部構造



夏堀 礼二

OJをはじめ、さまざまところで活躍中の夏堀礼二先生。今回、失敗から学ぶ長期成功のためのインプラント上部構造についてご講演していただきます。きれいな症例、良い経過の症例はよく見る事ができますが、うまくいかない症例を共有し学ぶことは多いと思います。インプラントのエキスパートである夏堀先生の講演は聴き逃せません。

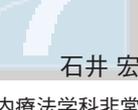
安定した咬頭嵌合位を求めて



菅野 博康

地元宮城では知らない者はいない程の咬合のスペシャリスト! 全国でもご高名な日顎のレジェンドです。いつも若手歯科医師にもお気遣いくださり、とても紳士な先生でいらっしゃいます。その菅野先生の咬合に関するお話はめったに聴けるものではないでしょう。聴かないと後で後悔するかも知れません。皆さん、必見です。

歯内療法を成功に導くポイントと根管形成・充填テクニック



石井 宏

ペンシルバニア大学歯学部歯内療法学科非常勤講師であり日本で数少ない歯内療法専門医院を開設しておられる石井先生の講演です。歯内療法で最も大切である根管形成、根管充填について一からお話していただき皆さんが臨床で疑問に思っていることも石井先生が解決してくれます。ぜひ皆さんご聴講ください。

審美領域におけるインプラントの長期予後

～成功に導く為の知識と手技～



小川 勝久

審美治療といえば天王洲アイルでご開業の小川先生。昨年は、インプラント補綴以外での審美治療についての講演でしたが、今回は、小川先生の一番得意とされている審美領域でのインプラント補綴についての講演です。特に今回は、誰もが知りたい長期予後についてです。この機会を見逃したら本当に損ですよ。



テーブルクリニック

セッション 4

6月28日(日) 11:10～12:20

基礎から学ぶシリーズ 基礎資料の収集から診査、診断まで

1 櫻井 健次

櫻井先生は、一昨年前の若手臨床家の発表において審査員の先生から高評価を得た若手のホープであり、これからの日本顎咬合学会を牽引される先生であると思われま。その先生がルーティーンに行われている基礎資料の収集から診査、診断の話は一聴の価値があります。

診断のための資料採取法と小外科のポイント

2 町野 守

元明海大学口腔診断学講座教授の町野守先生には、診断のための資料採取法と小外科の長期ポイントについて講演していただきます。熱心な教育者でありながら、臨床もこなしています。先生の長い臨床経験に裏打ちされたポイントを拝聴して、明日からすぐに活用しましょう。

歯周治療における歯科衛生士の役割

3 若林 健史

某 CM でもお馴染みの若林先生です。先生が日常臨床で最も大切にしている歯周病治療において、特に治療パートナーでもある歯科衛生士の役割に関してのお話です。歯科医師と歯科衛生士の両者にとって、非常に有意義なお話が聴けることでしょう。懇切丁寧でわかり易い若林先生のお話は必見です！

CAD/CAM を用いた臨床応用の実際

4 増田 長次郎

増田先生は、専門学校ご卒業後、アメリカやイタリアで10年近くにわたり研鑽を積まれた、グローバルにご活躍されている歯科技工士です。これからさらに多用されるであろうCAD/CAMの臨床応用について最も確実に、豊富な知識をお持ちの先生と言っても過言ではないでしょう！

安心・安全な歯周組織再生療法を目指して

- 診断方法とマテリアルの選択基準 -

5 長谷川 嘉昭

東京で開院され特に歯周病に力をいれ医院全体で歯周病予防と治療をおこなってられます。我々歯科医師は天然歯をできるだけ残存させたいと考えています。今回は歯周病のスペシャリストである長谷川先生に臨床家の再生療法のポイントを教えていただけます。

GPのための効率的な根管治療

6 福山 房之助

「僕はエンドのスペシャリストを目指します」と言い切った福山先生。現在発売されているチタンファイルを収集し、相違点を確認し、実験系を作製し、画像撮影しながら臨床応用の手法を考察する。歯内療法に悩んでおられる先生、必見です。

サブソニックブラシの活用方法

7 鈴木 朋湖

今やメンテナンスで口腔の健康管理を求めのが当たり前になりつつある時代です。では、それを担う歯科衛生士は、「きちんとその目的を解ってはいりますか？」と、インストラクターとしても臨床家としても豊富な経験から関西弁の鈴木朋湖先生が、皆さんがわかるまで解説してくれます。

長寿社会を迎えてインプラント補綴を考える

～最新 CAD/CAM ISUS の利用～

8 田中 譲治

長寿社会を迎えて、少数のインプラントで高い治療効果の得られるインプラントオーバーデンチャーを応用し、噛む機能を回復させることにより、QOLの向上につながる。まさに、「全身の健康は口から始まります」と強く主張される田中先生！ 様々な埋入状態のインプラントに対応できるテーラーメイドのスクリュー固定によるインプラント上部構造を用いての臨床をご紹介します！



テーブルクリニック

セッション5

6月28日(日) 13:30～14:40

ポケットを確実に除去!

切除療法の考え方とテクニック

1
林 丈一朗

歯周病の原因が細菌性プラークと認識され半世紀。その間、治療方法は切除療法から再生療法へと変遷し、材料およびテクニックは進化を遂げてきました。しかし全ての症例に対し再生療法を応用できるわけではありません。そこで重要なのは“Back to Basic”です。確実に歯周ポケットを除去する切除療法を再考する時ではないでしょうか? 今更こんなこと聞けない! ということも笑顔が素敵な林丈一朗先生が優しく教えてくれます。

旧義歯の蘇生

～チェアサイドでできる効率的な義歯の咬合関係の診査と調整法～

2
松下 寛

ベテランならではのヒント大公開です。義歯の咬合を適切にすることで患者満足度は急上昇。ダメな義歯が本当に蘇生するのか? えっ気付かなかった! 自分にもできる! 明日からでも使える小ネタ満載です。

歯科衛生士から見たチーム医療

～技術だけでなく心も育てよう～

3
小谷 いずみ

現代医療に置いてチーム医療はなくてはなりません。すべての分野において様々な職種が連携を組んで質の高い医療に取り組もうという働きです。その時、技術だけでは到底良質なチームは組めません。小谷いずみ先生は、ここに心を育てていく、という観点に着目しました。歯科衛生士から見たチームとはなにか、大変楽しみです。

顎機能不全における画像診断とその治療装置の展開

4
重村 宏

JIADSをはじめとして様々なところで講師として活躍している重村宏先生には、今回顎機能不全における画像診断とその治療装置の展開について講演していただきます。顎機能不全? 頭で分かっているようで良く分からない方も多いはず。このレクチャーは歯科医師が聞いてもためになるはずです。

口腔内を診る, 人を観る

—衛生士さんのスキルアップのためのCMI—

5
後藤 邦之

CMI(Cornell Medical Index)は患者の心身の自覚症状を来院初診や定期健康診断の際に比較的短時間に調査するために作成された自己記入式の心理テストです。このCMIを使って後藤邦之先生が歯科衛生士のスキルアップのツールとして説明されます。大変興味深い分野です。

マイクروسコープの臨床応用

6
勝部 義明

学生時代、極真空手の軽量級チャンピオン勝部先生の毎年恒例になっている必殺回し蹴りトークが炸裂します。歯科界においてもチャンピオンを狙っている勝部先生の大胆かつ繊細なマイクروسコープの臨床応用について、この講義を逃したら日本顎咬合学会に来る意味がないと言っても過言ではないでしょう。

日常臨床と中心位

7
小嶋 壽

歯内療法の世界ではその名を知らない方はいないでしょう。「一生勉強!」と常々言われる小嶋先生の咬合に関するお話です。徹底した診査診断に基づく臨床の中で顎位に関するどんなお話が聴けるかとても楽しみです。咬合について再確認できるチャンスで、日常臨床に直結すること間違いありません。

順次誘導咬合理論の基本と応用

8
榊原 功二

ニューナソロジーともいえる最新の咬合様式について、咬合のスペシャリストである榊原先生によるお話が聴けます。常に生体に調和した調整の少ない補綴物の製作を目指している先生だけに、きっと日常臨床のヒントが多く得られることでしょう。聴かなきゃ損ですね!



テーブルクリニック

セッション 6

6月28日(日) 15:10～16:20

苦手を克服しませんか？

コンボジットレジン修復

樋口 克彦

北九州歯学研究会若手のホープ！ コンボジットレジン修復とクラブ活動に対する飽くなき追求は脱帽モノ！ 人を瞬時に虜にする話術は、まさにカメレオン効果！ そのメガネの奥には何が見えているのか？ コンボジットレジン修復が苦手な若手歯科医師の明日からの臨床に即応用できること間違いなし！

早期治療と長期管理を基本とする総合診療科としての小児歯科医療

山崎 要一

満を持して日本小児歯科学会の理事長自らに登場していただきます。健全な咬合の成育を目的とした、歯科的介入時期や方法に関して時間軸を考慮しながら体系的に示唆してくれるでしょう。テーブルクリニックならではの身近な距離だからこそ、その歯切れのよい語り口が深い感銘を与えてくれるに違いありません。

歯科医師が望む理想の歯科衛生士とは

鵜飼 誠

大胆かつ繊細、自信をもち謙虚、無骨な容姿と大声とはうらはらに細やかで情熱家である鵜飼先生。UCLAのヘンリータケイ先生に大きな影響を受けて、尼崎の地でスタッフ14人の大所帯の医院で最先端の歯科医療を提供されている鵜飼先生に理想の歯科衛生士像について語ってまいります。

下顎総義歯吸着を達成するための技工テクニック

吸着印象の成功は各個トレーから

小久保 京子

下顎総義歯吸着には歯科技工士との共同作業が必須です。吸着義歯のメカニズムを考えて、なるほど各個トレーのココをこの形にしたのか！ そのようなヒントを得ることができる歯科医師と歯科技工士と一緒に聴く講演です。阿部二郎先生と共に海外でも講演しているので、つい英語でしゃべっちゃうかも。

超高齢社会に対応する最新テレスコープシステム

岩田 光司

咬合学に基づいた、論理的な講演に定評がある若手のホープに登場いただきます。岩田先生の臨床の基本は「咬合診断」。診査診断の時、注視すべき項目は「全身と咬合」の大切さを再認識させてくれる。きめ細かく整理された資料は、臨床のヒント満載。即日実践できる咬合治療。沢山メモを取って、明日からの診断に役立てよう。

GBRのポイント

～切開線・補填剤・膜・縫合・タイミング～

大森 有樹

外見とは違い若手の大森先生、歯科全般に精通し海外まで足をはこんでの講演活動や発表を精力的に行われています。特にインプラントと歯周病は先生の得意分野であり、今回は骨増生についてのポイントを文献考察をふくめて的確に説明していただけることでしょう。

咬合再構成症例における顎口腔診査診断の手順

飯山 浩靖

いつもハッピースマイルの飯山先生です、日本一説明する歯科医師とホームページに記載されています。見た目は怖い方に見られ、声も大きくそのものですが、西川洋二先生の教え子ですので、いざ咬合顎機能の話になると一変繊細かつ巧妙な技術を発揮！！ ぜひ、風貌を観に来て凄い話を聞いてください。必見です！！

生理的機能を考慮した咬合治療

山口 康介

SAGA佐賀のがばい臨床をお見せいたします！ 増田純一先生に師事し、矯正治療のみならず、口腔内全体を診る目も持っている先生です。ゴムメタルを応用した矯正や、生理的機能を考慮した咬合治療は、九州のスターディーグループJUCのみならずアジアをも席卷中！ 今から咬合治療をしようとお考えの先生方にオススメです！

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 1 6月27日(土) 13:30～14:40

効率的な抜歯のポイント

住吉 周平

高校～大学を通じての生粋のラグーマン！福岡高校ラグビー部員として花園にも出場！福岡歯科大学口腔外科講座で長年にわたり研鑽。その風体からは想像もつかないほど繊細な抜歯手技を先生方に披露してくれます！プーさんみたいな住吉先生のオンデマンドに乞うご期待！抜歯の苦手な先生方にぜひ聴いていただきたいです！

基礎資料収集に役立つ口腔内写真の撮り方と見方

島田 卓也

大阪府で開業されている島田先生は、臨床医としての腕は一流ですが、カーレースの腕も一流です。そんな島田先生に今回は口腔内写真の位置決め、規格写真の撮り方を正確に教えていただけます。若手歯科医師だけでなく若手歯科衛生士、また経験豊富な歯科医師の先生たちも参考になる講演となっておりますので、乞うご期待ください。

総義歯 3つのエッセンス

- 吸着して機能的な総義歯の臨床 -

齋藤 善広

吸着義歯ではお馴染みの齋藤先生は、実はインプラントを含め幅広い多くの治療を手懸けている先生でもあります。その義歯に対する執念とも言える突き詰め方は圧巻です。総義歯の得意な方も不得意な方も、絶対のためにすること間違いのないでしょう。理路整然として、とてもわかり易く説明してくれます。必見です！

共同演者：江本 寛

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 2 6月27日(土) 15:10～16:20

箸の文化に適応した前歯で咬み切れる総義歯製作

松岡 金次

河原英雄先生とともに約40年間、総義歯技工を極め、特にバランスドオクルージョンに関しては独自の発想とカリスマ的存在を兼ね備えた歯科技工士の先生です。

人に伝わるプレゼンテーションの作り方

加藤 泰二

滋賀県で開業されている加藤先生は、患者とのコミュニケーションの能力に定評があり人柄も素晴らしい先生です。そんな加藤先生に今回は「人に伝わるプレゼンテーションの作り方」をわかりやすく講演していただきます。日頃プレゼンの作り方で悩んでおられる歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士にとっては必見ですのでお見逃しのないように！！

支台歯形成と印象採得

成功のための勘所

大村 祐進

ミスター審美！そして日本審美歯科協会会長！歯肉の美しさと補綴物の調和を徹底的に追及した究極の審美をお見せします。こだわりにこだわり抜いたこの臨床はすでに芸術の域！ピチピチの歯肉とピチピチのファッションはまさにイタリアン！先生方はフェラーリのようなこの臨床についていけるか？

共同演者：木村 拓郎

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 3 6月28日(日) 9:30 ~ 10:40

アンテリアガイダンスとポステリアサポート

榊原 功二

調整の少ない補綴物を目指して！ 咬合のスペシャリストによる咬合学の基礎となるお話です。アンテリアガイダンスとポステリアサポートは補綴物製作において重要なところで、日常臨床での補綴物製作から咬合調整まで知識を整理する良い機会となることでしょう。

オーラルリハビリテーション臨床実践キーポイント

南 清和

日顎理事長をはじめ数々の要職に就かれ、学会の発展に多大な貢献を果たしている南清和先生は、臨床においても歯科界のトップランナー。確かな理論と技術に裏付けられた形態と機能を兼ね備えた一口腔単位の治療は、いつ見てもため息が出てしまいます。進化し続ける南先生の臨床。今年はどうな講演が聴けるのか楽しみです。

Treatment Option in Endodontics

岡口 守雄

ご存知のとおり岡口先生は修復治療、歯内療法のスぺシャリスト。マイクロスコーブを用いたその繊細な手技、それを実践するために開発された先生独自のインストゥルメント、理にかなったその手法の数々。あなたの歯内療法のレベルアップに即、直結することでしょう。聴かなきゃ損しますよ！

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 4 6月28日(日) 11:10 ~ 12:20

生体と調和する歯周組織にやさしい歯冠修復物

遊亀 裕一

昨年出版された書籍見ました！ 歯科技工士の知識とテクニックで、あそこまで補綴装置が本当に生体と調和してしまうなんて。模型を見ると生体やエックス線画像が頭に浮かぶ歯科技工士。長年の経験と実績から、単なる飾り物の美でなく、Longevityも兼ね備えた歯科技工の本質をご覧ください。

一般臨床へのセファロ分析・診断の有効活用 (MTM)

松崎 浩成

一般開業医でありながら、矯正治療を臨床に取り入れるマルチディシプリナリーな先生です。「治療のスタートである、分析、診断がしっかりできていなくては、治療の目標設定が出来ないじゃん」と大好きな芋焼酎（ロック）を片手に語ります。分析、診断の基礎となるトレースの美しさをぜひご覧ください。

歯周外科におけるマイクロスコーブの有用性

松本 和久

審美歯科治療を成功させるにあたり、自然感のある歯、健康で審美的な歯周組織を高い予知性をもって再構築するには、精密で高度な技術が要求されます。そのためには、術野を拡大して施術する必要があります。そこで今回、北海道のマイクロの雄・松本和久先生に、ペリオドンタルマイクロサージェリーを語っていただきます。

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 5 6月28日(日) 13:30～14:40

離乳食から幼児食への進め方

増田 純一

増田先生はP.K. トーマス先生とN.F. ギシェー先生に咬合学の実際を学び、「大人の咬合を診る視点から子どもの咬合を診ることができる」小児歯科の大家です。「三つ子の魂百まで」と言いますように、幼児期の咬合がそのまま高齢までの咬合を引き継いでいきます。「幼い頃からの咬合育成」がどれほど重要であるか、講演を聴いて実感してください。

臨床家のための実践的歯内療法

—失敗を成功に導くためのリカバー法—

平井 順

演者が語る臨床経験から得られるエビデンスは臨床で迷える私達に福音となります。一本一本の歯に優しい、咬合に優しい、患者に優しいだけではなく私達歯科医療従事者にも優しいまなざしをいつも投げかけています。今回のテーマはエンドに関するものですが、咬合を通して患者の健康にいかにか寄与できるかという概念が根底にあります。聴くことで皆様の明日からの診療に何かしらの光明があることを期待します。

修復治療の限界を再考する

吉田 格

吉田先生はマイクロスコープの世界では非常に有名な先生で、早くから診療に導入され、その用途も臨床の多岐にわたりオールラウンドに使いこなしておられます。今回は修復治療のお話という事ですが、写真や動画が得意な先生なので、その美しい画面と流暢な話し方で聴衆も時間の経つのを忘れて、その真髄を楽しく学べると思います。

B7 ホール B7 右側 ニチガクオンデマンド

セッション 6 6月28日(日) 15:10～16:20

態癖への取り組み

～力のコーディネーターとしてできること～

合田 幸枝

口腔だけでなく顔面の歪み、全身姿勢、あるいは態癖に注目して「見えない力」に向き合う筒井照子先生のもと、力のコーディネーターとして活躍する合田幸枝先生から、歯科衛生士の立場で患者の態癖とどう取り組んでいるのか、教えてもらいます！

歯科医師の歯科医師による歯科医師のための資産倍増計画

久保田 智也

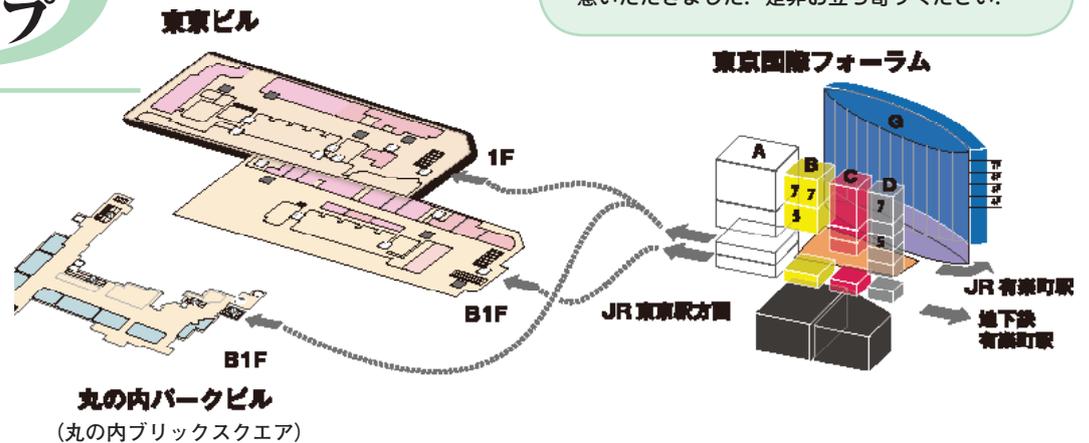
今年も登場です。ニチガクの経済担当、久保田先生。まるでどこかの大統領演説の様な演題です。さらに聴講ポイントは、「本当のお金持ち」。シャープにあなたの歯科医院経営に切り込み「本当のお金持ち」にしてくれるかもしれません。経営に不安がある方もない方もぜひ会場で資産運用について学びましょう。

本当のところはどうなの？

DHによるマイクロスコープ治療の有効性

大野 真美

「歯科衛生士がマイクロスコープを使用することは、歯科衛生士の臨床だけでなく歯科医院を変える！」ゆるがない信念を持ち続けて使用歴10年。その臨床経験から得たマイクロスコープ使用のメリットを、マイクロスコープ下での動画を交えて分かりやすく伝えてくれるはず。歯科衛生士は勿論、マイクロスコープをお持ちの歯科医師にも必見です！



大好評につき、本年も充実したサービスをご用意いただきました。是非お立ち寄りください。

東京ビル TOKIA と丸の内ブリックスクエアの一部レストランで、本年も学術大会参加の方限定のお得な特典をご用意いただきました。ランチ、ディナー共にご利用頂けますので、是非お立ち寄りください。
サービスご提供店舗、内容につきましては、後日、学会ホームページにてお知らせいたします。

サービス期間：2015年6月27日（土）～28日（日） 第33回日本顎咬合学会学術大会・総会 開催期間中

※一般のお客様との違いがわかるように、事前にネームカードをご呈示ください。

Informations

【お知らせ】

- ・2013年11月の認定医制度規則、認定医制度施行細則一部変更に伴う暫定期間が2015年6月30日で終了します。新制度規則、新制度施行細則の詳細についてはホームページをご参照ください。
- ・2013年11月に施行された認定歯科衛生士制度規則、制度施行細則の暫定期間が2015年6月30日で終了します。2016年度以降は認定歯科衛生士の資格取得条件が会員歴2年以上となりますので、ご注意ください。

※認定歯科技工士制度規則、制度施行細則の暫定期間は2017年6月30日までです。

第16回咬合フォーラムのご案内

日 程：2015年9月27日（日）

テーマ：「～新・顎咬合学～ 機能改善の体現」

会 場：JR博多シティ JR九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1-1）

演 者：松島正和先生（東京都開業） 「顎関節の臨床的機能と咬合のとらえ方」

永井省二先生（宮崎県開業） 「機能咬合療法に基づいた歯科医療～咀嚼・発語・平衡から顎機能を体現する～」

下川公一先生（福岡県開業） 「咬合治療の手順とその結果」

座 長：上野道生先生（福岡県開業）

歯科技工士、歯科衛生士認定資格取得をめざされている皆様へ

2012年度より日本顎咬合学会では国民の皆様の口腔を守るために、知識・手技・マナーの研鑽に努める制度を立ち上げました！ 歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士の三位一体でワンランク上の歯科医療従事者をめざしましょう。

歯科技工士の皆様

(条件)

- ・日本顎咬合学会会員であること
- ・臨床歴4年以上

※2011年4月1日時点で歯科技工士資格を取得していること。

歯科衛生士の皆様

(条件)

- ・日本顎咬合学会会員であること
(次年度より条件が会員歴2年以上に変更します)
- ・臨床歴2年以上

※2013年4月1日時点で歯科衛生士資格を取得していること。

資格取得までの流れ

【ステップ1】第33回学術大会に参加し、学術大会プログラム「認定研修Ⅰ」を受講
6月28日(日) ホールC 9:15～12:00
認定研修Ⅰ 「高齢者の摂食・嚥下と機能回復」
講師：弘中祥司先生・林揚春先生 座長：田中晃伸先生

【ステップ2】認定歯科技工士 事前講義・検定試験

2016年4月に東京で実施予定

※認定研修Ⅰを受講された歯科技工士の皆様には9月頃にご案内を発送する予定です。

【ステップ2】歯科衛生士 認定研修Ⅱ・Ⅲ・認定試験

2015年10月～11月各支部にて実施(詳細は下記参照)

※認定研修Ⅰを受講された歯科衛生士の皆様には7月初旬にご案内を発送いたします。

歯科衛生士 認定研修Ⅱ・Ⅲ、認定試験の日程

日程	開催地	開催会場
10月24日(土)	横浜	パシフィコ横浜
10月31日(土)	札幌	北海道歯科医師会館
11月7日(土)	大阪	AP大阪駅前梅田1丁目
11月14日(土)	郡山	ビッグアイ市民交流プラザ
11月22日(日)	名古屋	ジーシー名古屋営業所
11月28日(土)	福岡	電気ビル本館会議室

【合格発表】

第34回日本顎咬合学会学術大会(2016年6月11日, 12日)

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 Who's Who

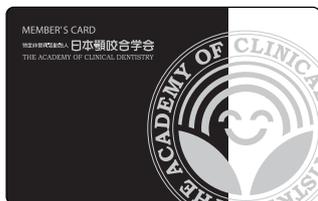
発行日：2015年4月20日

発行者：渡辺隆史

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門パレス201

TEL：03-6683-2069 FAX：03-6691-0261 E-mail：nichigaku@ago.ac



● 会員カード発行のお知らせ

平成 24 年度より会員カードを発行しております。学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請（申請方法は会によって異なります）に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします。

※第 33 回学術大会の単位申請は B1F ロビーギャラリー学会受付にてご申請ください。

学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- ・勤務先・自宅・お届け先など登録内容の確認・変更
 - ・認定資格・単位取得状況の確認
 - ・年会費のお支払（カード決済）、お支払状況の確認
- ※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- ・平成 27 年度の年会費の納入がまだお済みでない方は、至急お振込みをお願いいたします。
- ・過去に未納分がございますと、認定試験、認定医の更新、学術大会への参加ができませんのでご注意ください。
- ・学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています。メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます。勤務先の変更、転居等登録内容に変更が生じた場合は、至急変更のお手続きをお願いいたします。
- ・「会員専用ページ」のご利用には、会員 ID（会員 No）とパスワードが必要です。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。

● 日本歯科医師会生涯研修登録について

6 月 27 日・28 日開催の第 33 回学術大会参加の際には、日本歯科医師会にご所属の先生は日本歯科医師会 IC カードを忘れずにお持ちください。学会受付にてご登録を行っていただきます。なお、学術大会は特別研修の登録となります。後日のご自身による登録はできませんのでご注意ください。

2015 年度 各支部の事業予定（自 2015 年 4 月 1 日～至 2016 年 3 月 31 日）

支部名	区分	開催日	会場	内容、講師等
北海道	認定医教育研修会	2015 年 10 月 31 日（土）	北海道歯科医師会館 （札幌市）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 福本雅彦 先生（日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授） 柴原孝彦 先生（東京歯科大学口腔外科学講座教授）
	支部学術大会	2015 年 11 月 1 日（日）	北海道歯科医師会館 （札幌市）	特別講演 小出 馨 先生（日本歯科大学新潟生命歯学部教授） 会員発表
東北	認定医教育研修会	2015 年 11 月 14 日（土）	ビッグアイ市民交流プラザ （福島県郡山市）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 井上 孝 先生（東京歯科大学臨床病理学講座教授） 嶋田 淳 先生（明海大学歯学部病態診断治療学講座教授）
	支部学術大会	2015 年 11 月 15 日（日）	ビッグアイ市民交流プラザ （福島県郡山市）	特別講演 塚原宏泰 先生（東京都千代田区開業） 会員発表 8 題予定
関東甲信越	認定医教育研修会	2015 年 10 月 24 日（土）	パシフィコ横浜 会議センター 5 階 （神奈川県横浜市）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 井上 孝 先生（東京歯科大学臨床病理学講座教授） 柴原孝彦 先生（東京歯科大学口腔外科学講座教授）
	支部学術大会	2015 年 10 月 24 日（土）25 日（日）	パシフィコ横浜 会議センター 5 階 （神奈川県横浜市）	基調講演 6 題・ハンズオン 7 題・会員発表
中部	認定医教育研修会	2015 年 11 月 22 日（日）	ジーシー名古屋営業所 （愛知県名古屋市中区）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 福本雅彦 先生（日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授） 柴原孝彦 先生（東京歯科大学口腔外科学講座教授）
	支部学術大会	2015 年 11 月 23 日（月・祝）	未定	特別講演 南 清和 先生（大阪府大阪市開業） 会員発表
近畿中国四国	認定医教育研修会	2015 年 11 月 7 日（土）	AP 大阪駅前梅田 1 丁目 AP ホール （大阪府大阪市）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 井上 孝 先生（東京歯科大学臨床病理学講座教授） 嶋田 淳 先生（明海大学歯学部病態診断治療学講座教授）
	支部学術大会	2015 年 11 月 8 日（日）	AP 大阪駅前梅田 1 丁目 AP ホール （大阪府大阪市）	特別講演（未定） 会員発表
九州沖縄	認定医教育研修会	2015 年 11 月 28 日（土）	電気ビル本館 8 号会議室 （福岡県福岡市）	【テーマ】 「今後の歯科医療人として知らなければならない口腔外科+病理編」 福本雅彦 先生（日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授） 柴原孝彦 先生（東京歯科大学口腔外科学講座教授）
	沖縄県主催認定医研修会	2016 年 2 月 28 日（日）	未定（沖縄県）	未定
	支部学術大会	2015 年 11 月 29 日（日）	電気ビル本館 8 号会議室 （福岡県福岡市）	会員発表 7 題